

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 14 日 (2009.5.14)

【公表番号】特表 2008-540453 (P2008-540453A)

【公表日】平成 20 年 11 月 20 日 (2008.11.20)

【年通号数】公開・登録公報 2008-046

【出願番号】特願 2008-510281 (P2008-510281)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 24 日 (2009.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

製薬的に許容される媒体中に、細胞接着活性を有する単離 A l s タンパク質ファミリーメンバー、またはその免疫原性断片を、アジュバントと一緒に含む、ワクチン。

【請求項 2】

前記 A l s タンパク質ファミリーメンバーが、カンジダ・アルビカンズ (C a n d i d a a l b i c a n s)、カンジダ・クルセイ (C a n d i d a k r u s e i)、カンジダ・トロピカリス (C a n d i d a t r o p i c a l i s)、カンジダ・グラブラータ (C a n d i d a g l a b r a t a) およびカンジダ・パラプシロシス (C a n d i d a p a r a p s i l o s i s) から成る群より選択されるカンジダ菌株に由来する A l s タンパク質を含む、請求項 1 に記載のワクチン。

【請求項 3】

前記 A l s タンパク質ファミリーメンバーが、A l s 1 p、A l s 3 p、A l s 5 p、A l s 6 p、A l s 7 p および A l s 9 p から成る群より選択される、請求項 1 に記載のワクチン。

【請求項 4】

前記免疫原断片が、A l s タンパク質ファミリーメンバーの N 末端領域断片または他のいずれかの断片を含む、請求項 1 に記載のワクチン。

【請求項 5】

播種性カンジダ症またはスタフィロコッカス・アウレウス (S t a p h y l o c o c c u s a u r e u s) 感染を処置または予防するための組成物であって、製薬的に許容される媒体中に、細胞接着活性を有する単離 A l s タンパク質ファミリーメンバー、またはその免疫原性断片を含むワクチンの免疫原性を 含む、組成物。

【請求項 6】

前記 A l s タンパク質ファミリーメンバーが、カンジダ・アルビカンズ、カンジダ・クルセイ、カンジダ・トロピカリス、カンジダ・グラブラータおよびカンジダ・パラプシロー

シスから成る群より選択されるカンジダ菌株に由来する A 1 s タンパク質を含む、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記 A 1 s タンパク質ファミリーメンバーが、A 1 s 1 p、A 1 s 3 p、A 1 s 5 p、A 1 s 6 p、A 1 s 7 p および A 1 s 9 p から成る群より選択される、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記免疫原断片が A 1 s タンパク質ファミリーメンバーの N 末端領域断片を含む、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記組成物が能動免疫化、受動免疫化またはその組合せとして投与されることを特徴とする、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 10】

播種性カンジダ症またはスタフィロコッカス・アウレウス感染を処置または予防するための組成物であって、宿主細胞または組織へのカンジダまたはスタフィロコッカス・アウレウスの結合または侵入を抑制するために、細胞接着活性を有する単離 A 1 s タンパク質ファミリーメンバー、またはその機能性断片の有効量を含む、組成物。

【請求項 11】

前記 A 1 s タンパク質ファミリーメンバーが、カンジダ・アルビカンズ、カンジダ・クルセイ、カンジダ・トロピカリス、カンジダ・グラブラータおよびカンジダ・パラブシローシスから成る群より選択されるカンジダ菌株に由来する A 1 s タンパク質を含む、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記 A 1 s タンパク質ファミリーメンバーが、A 1 s 1 p、A 1 s 3 p、A 1 s 5 p、A 1 s 6 p、A 1 s 7 p および A 1 s 9 p から成る群より選択される、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記細胞接着活性が、ゼラチン、フィブロネクチン、ラミニン、上皮細胞または内皮細胞への結合を含む、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 14】

前記機能性断片が A 1 s タンパク質ファミリーメンバーの N 末端領域断片を含む、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記宿主細胞が内皮または上皮細胞起源の細胞を含む、請求項 10 に記載の組成物。